

令和4年度

事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

公益財団法人南丹市情報センター

令和4年度 事業報告

平成4年のCATV開局より運営してきた南丹市ケーブルテレビ事業は、令和4年3月31日の指定管理協定期間満了をもって終了しました。ケーブルテレビ事業と国際交流会館の竣工に合わせて設立され30周年を迎えた当法人は、当年度より事業内容を大きく変更して新体制でリスタートしました。

令和4年度以降の取組みとして、ケーブルテレビ事業を継承する形でフィルムコミッション事業を構築して新たな地域貢献施策、地域振興、地域活性化事業を提供すること、また30年間のケーブルテレビ事業で蓄積された番組や映像等を記録保存しているアーカイブ・システムを活用して地域の有形・無形の文化財、芸能、風習等の記録が貴重な文化遺産として保存、活用されるよう取り組むアーカイブ事業を提供すること、そしてこの地域の振興と活性化に取り組む各種団体や高等教育機関等との連携、協力により、南丹市国際交流会館を地域の集約的な活動、運営拠点として地域振興事業を提供すること、これらの新たな取組みが京都府公益認定等審議会の審議を経て、平成24年の公益認定を継続する形で京都府知事よりあらためて公益認定を受けることとなりました。

民間事業者へ引き継ぐことになった南丹市ケーブルテレビ事業については、新たな指定管理者の拠点が奈良県にあることなどから業務移管や事務所開設が大幅に遅れて時間を要しましたが、取引金融機関等の協力により契約変更が円滑に進んだことや、一部業務の延長、事務所の共用など可能な限り支援を行うことで利用者に大きなご不便をかけることなく移行することができました。

南丹市国際交流会館の管理運営では、依然としてコロナ禍の影響が大きく、イベントホール等を新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として年間を通じた継続利用に協力しました。また、国際交流会館を地域貢献団体等の集約的な活動、運営拠点として、森の京都「なんたん」カレッジ地域学芸員養成講座や公開講座等の文化講座の開催や「なんたにあんキッズカーニバル」等の国際交流事業を共催し市民活動を支援することができました。

事業報告 一覧

公益目的事業 1（地域情報通信事業）

1. 南丹市ケーブルテレビ事業を継承した新たな取り組み

フィルムコミッション・ロケーションサービス事業の推進

映像制作支援

デジタルアーカイブ事業

有線テレビ放送を通じた地域活性化番組の制作

南丹市ケーブルテレビ事業の運営支援事業

公益目的事業 2（地域振興事業）

2. 南丹市国際交流会館を活動拠点にした公益目的事業

南丹市国際交流会館の活用と地域貢献、各種団体等と連携した地域振興事業

国際交流事業

森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業

近隣市町との連携による地域貢献

文化観光振興事業

フィルムコミッション・ロケーションサービス事業

生涯学習等推進事業

収益事業（交流会館管理運営事業）

3. 南丹市国際交流会館の管理運営

南丹市国際交流会館の利用状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組み

計画的な保守点検、施設修繕の実施

1. 南丹市ケーブルテレビ事業を継承した新たな取り組み

【フィルムコミッション・ロケーションサービス事業の推進】

京都府より公益認定を受けた取組みの一つとして、30年間のケーブルテレビ事業の活動、地域情報の把握、地域とのつながり、映像業界との関わりを活かした新たな地域貢献施策、地域振興、地域活性化事業を行うため、フィルムコミッション事業の立ち上げに向けて取組みを進めた。

南丹市の担当部署となる観光交流室と定例会で協議を重ね、開設に向けて目的、期待する効果、運営方法、財源、計画等について検討するとともに、近隣地域や関係団体との連携により調査研究、視察、研修等を行った。

(調査研究・視察)

京都府南丹広域振興局

- ・近隣地域における映像制作、観光、商業等の現況について
- ・京都亀岡フィルムコミッション、京丹波ロケーションオフィスの取組みについて

京都府商工観光労働部ものづくり振興課

- ・京都府内のフィルムコミッションの取組みについて
- ・京都府との連携及びロケスポット京都の取組みについて

特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション

- ・国内におけるフィルムコミッションの取組み、事例、課題等について

京丹後市観光公社（京丹後フィルムコミッション）

- ・運営体制、事業実績、先進事例、課題等について

(研修・セミナー)

一般財団法人地域活性化センター

- ・オンラインセミナー「ロケツーリズムによる持続的な地域活性化」

特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション

- ・令和4年度JFC近畿ブロック研修会

文化庁 / 特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション

- ・関西フィルムミーティング

【映像制作支援】

南丹市内をロケ地とする映画の撮影があり、南丹市観光交流室、商工課、秘書広報課と連

携して撮影時の制作支援を行い、令和5年公開予定映画を活用したシティプロモーション計画に参画した。

制作会社 and pictures / 協力団体 アド近鉄

○映画「唄う六人の女」(監督/脚本 石橋義正、主演 竹野内豊・山田孝之)

南丹市美山町ほかで令和4年5～6月に撮影、令和5年に公開予定

【デジタルアーカイブ事業】

30年間のケーブルテレビ事業によりデジタルアーカイブ・システムに蓄積された番組や映像記録等を提供し活用した。

また、保存されている映像記録等の使用について、南丹市の地域振興と活性化に向けて効率的、効果的にこれらの映像等の資源を社会全体で有効に活用することを目的として映像使用許可規程を定めた。

(アーカイブ映像の提供)

京都産業大学 シンポジウム「平成と令和の大礼を振り返る」(所 功 名誉教授)で上映

・「令和大嘗祭 八木町氷所 主基斎田選定を祝って」(2020年)

KCN なんたん もぎたてニュースサタデー 特集「災害への備え 忘れずに！」

・2013年9月 台風18号「園部川の濁流」「車の水没」映像

KCN なんたん もぎたてニュース 特集「今年一年の南丹市の出来事を振り返って」

・2022年2月 「新たに南丹市議会議員決まる」

・2022年3月 「美山ふるさと株式会社30周年記念式典」

・2022年3月 「八木駅自由通路西口使い始め式」

KCN なんたん 新成人に贈る思い出アルバム

・平成27年度中学校入学式

(園部中学校、八木中学校、殿田中学校、美山中学校、園部高校附属中学校)

KCN なんたん 卒業生に贈る思い出アルバム

・令和2年度中学校入学式

(園部中学校、八木中学校、殿田中学校、美山中学校、園部高校附属中学校)

KCN なんたん 卒業生に贈る思い出アルバム

・平成29年度小学校入学式

(園部小学校、園部第二小学校、八木西小学校、八木東小学校、殿田小学校、

胡麻郷小学校、美山小学校)

KCN なんたん Road to Olympic 地域が生んだトップアスリート

- ・もぎたて特集「美山サイクルロード」等 9 作品

(令和5年度に放送日を延期)

総務省 映像コンテンツを活用した地域情報発信に関する実証実験

「Sustainable Experience in KYOTO MIYAMA」

- ・2016年「美山かやぶきの里風景」映像
- ・2021年「美山かやぶきの里一斉放水」映像

美山山村留学事業25周年記念ビデオ「我が心のふるさと 美山への思い」

- ・2007年4月「山村留学センター入所式」～「夏季体験留学」「夏祭り」「OB会設立総会」
「親子行事」「知井小学校閉校」「山村留学20周年を迎えて」「20周年を祝う会」
～ 2016年4月「美山小学校開校式」等 16 作品

南丹市福祉相談課 広報「なんたん」(12・1月号)

- ・「日吉町民生児童委員協議会 子ども見守りスタート」写真

(番組提供)

KCN なんたん自主放送チャンネルへ番組提供(南丹市ケーブルテレビ事業民間移管支援)

- ・各学校等の卒業式・卒園式(2022年)
- ・ふるさと再発見「京街道をゆく 旧観音峠から小山東町まで」(1996年)
- ・四季そのべ「蘭春」(1999年)
- ・四季そのべ「初夏」(1999年)
- ・「光は心から放たれて 小寺洋一さんの十年」(2001年)
- ・「イタリアでオペラを歌おう ～河鹿合唱団の挑戦～」(2002年)
- ・人形劇団京芸「どろんこ劇場パート2」(2005年)
- ・日吉町多治神社「田原の御田」(2011年)
- ・公開講座「園部藩の誕生 小出吉親の入部と園部陣屋の築造」(2019年)
- ・公開講座「幕末維新期の園部藩 園部城の誕生」(2019年)
- ・「園部藩のあゆみ」(2020年)
- ・南丹市図書館講座「岡田よしたか(画家/絵本作家)」(2021年)
- ・「森とともに生きる 京都丹波高原国定公園 ～生命のふるさとからの贈り物～」(2022年)

ほか

【有線テレビ放送を通じた地域活性化番組の制作】

豊かな社会の実現に向け、地域住民や行政など様々な関係者と共に地域の活性化や社会貢献活動につながる番組を制作した。

文化庁 観光拠点整備事業（地域文化財総合活用推進事業）映像記録制作業務

○『森の京都「なんたん」歴史街道を訪ねて』

南丹市立文化博物館 動画制作業務

○「南丹市無形民俗文化財紹介動画」

【南丹市ケーブルテレビ事業の運営支援事業】

南丹市地域情報通信ネットワーク施設民間移管事業による CATV サービスの移管に伴い利用者に不都合が生じることのないよう、新たな指定管理者となった近鉄ケーブルネットワーク及び KCN なんたんに対して円滑な移管に向けた協力業務を実施した。

- ・ CATV 等サービス提供に関する契約の継承及び関連設備機器の提供
- ・ CATV 等加入管理及び利用料等収納に関する契約の継承及び関連設備機器の提供
- ・ 自主放送番組、映像コンテンツ及び制作関連設備機器の提供
- ・ 事務所及び関連業務スペース等の提供
- ・ 事務所開設準備及び改修工事の協力
- ・ パソコン、複合機等の事務機器及び電話回線の貸与
- ・ 中継車及び中継設備の貸与（市長選挙公開討論会 生中継）
- ・ 電気代、賃借料等の納付代行

2. 南丹市国際交流会館を活動拠点にした公益目的事業

【南丹市国際交流会館の活用と地域貢献、各種団体等と連携した地域振興事業】

公共福祉増進と地域発展に貢献するため、南丹市国際交流会館を地域貢献団体等の集約的な活動、運営拠点として各種団体の活動を支援した。また各種団体、高等教育機関や近隣自治体等との連携、協力により、南丹市内外の住民や団体に向けた生涯学習講座や国際交流行事等を開催し地域振興事業に取り組んだ。

【国際交流事業】

世界に開かれた「ひと」と「まち」づくりをめざして様々な国際交流事業を展開する南丹市国際交流協会と連携し各種事業を共催した。また国際交流活動の拠点として協会事務所を南丹市国際交流会館2階に設置している。

(共催)

- 外国人のための日本語教室 (毎月、8月を除く)
- 社会人のための英会話講座 中級コース／リフレッシュコース
(5～7月、9～11月、1～3月)
- なんたにあんキッズカーニバル2022 (12月)

主催：南丹市国際交流協会 共催：公益財団法人南丹市情報センター

(後援)

- フィールドトリップ in なんたん (8月)

主催：南丹市国際交流協会 後援：公益財団法人南丹市情報センター

(協力)

- 国際交流・多文化共生 子ども絵画コンクール (9月)

主催：南丹市国際交流協会 協力：公益財団法人南丹市情報センター

- 南丹市国際交流協会の活動拠点として事務所を設置 (南丹市国際交流会館2階)

【森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業】

『森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業』(文化庁補助事業)では、国際交流会館を活動拠点に同実行委員会の協力団体として事務局を担当した。

今年度の『森の京都「なんたん」カレッジ』(人材育成事業)では、『森の京都「なんたん」歴史街道を訪ねて』をテーマとして、南丹市の魅力を伝える案内人・語り部として活躍していただく方のための地域学芸員養成講座と、市内外の方に地域の歴史文化に触れ、学びを深めていただく公開講座を開催した。

- 地域学芸員養成講座 8講座 延べ113名受講 (10月～11月)

- ・丹波 行く人・来る人 ～ふるさとの歴史街道を歩いてみよう～
- ・五畿七道からみた交通路としての丹波国 ー現代に残る古代の地方区分と地名ー
- ・街道沿いの仏教文化
- ・多治神社の祭礼と系譜
- ・丹波地域の街道を彩る町家の特徴と地域性

- ・山伏の回国修行 ー丹波・丹後の村々を歩くー
- ・戦国の街道と城跡 ー丹波・摂津国境を行き交う軍勢ー
- ・貝原益軒が歩いた丹波 ～旅日記と旅行案内～

○公開講座 3講座 延べ65名受講 (11月)

- ・峯山藩主の参勤交代「道中記」
- ・丹波の京街道を探る
- ・鉄道と自動車の時代

主催：森の京都「なんたん」エコミュージアム実行委員会

(園部町振興公社・南丹市商工会・森の京都地域振興社(森の京都DMO)・南丹市美山観光まちづくり協会・南丹市八木町観光協会・日吉町観光協会・園部文化観光協会・生身天満宮・丹波史談会・南丹市・京都府南丹広域振興局)

後援：佛教大学

運営協力：公益財団法人南丹市情報センター

『森の京都「なんたん」デジタルミュージアム』(情報発信事業)では、同テーマに関連する記録映像制作に取り組んだ。アーカイブシステムの充実を図り、歴史街道の往時の賑わいを伝える町並みとともに豊かな自然や受け継がれてきた食や祭礼など、街道を生かした暮らし方を国内外に発信する。

○デジタルコンテンツ制作

記録映像『森の京都「なんたん」歴史街道を訪ねて』(28分)

製作：森の京都「なんたん」エコミュージアム実行委員会

製作協力：公益財団法人南丹市情報センター

映像制作：KCNなんたん

【近隣市町との連携による地域貢献】

『森の京都「なんたん」カレッジ』では、高等教育機関、各種団体や近隣自治体との連携、協力により第一線で活躍されている歴史研究家や大学教授に講師として参加いただいた。公開講座では京都市や京丹後市など市内外から多くの受講者が参加した。

○地域学芸員養成講座

亀岡市生涯学習市民大学 黒川孝宏 学長

大阪商業大学 西岡尚也 教授

京都府教育庁 文化財保護課 桑原正明 技師
京都府教育庁 文化財保護課 向田明弘 主査
立命館大学 衣笠総合研究機構 大場 修 教授
京都府立大学 水本邦彦 名誉教授
京都先端科学大学 教育開発センター 中西裕樹 特任准教授
公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター 調査課 森島康雄 係長

○公開講座

京都府立大学 水本邦彦 名誉教授
福知山市 文化スポーツ振興課 西村正芳 課長
京都学・歴彩館 井口和起 顧問

【文化観光振興事業】

日本で最後に築かれたお城として注目を集める「園部城」をテーマにしたイベント「京都・南丹 園部城祭り」の開催を支援した。ゴールデンウィーク期間中の主要観光施策として、南丹市国際交流会館及び園部公園一帯を会場に、南丹市商工会など実行委員会が主催した。国際交流会館では、園部文化観光協会、南丹市観光交流室との連携、協力により南丹お城サミットを開催し、記念講演会ではNHK大河ドラマで建築考証を担当されるなど城郭・神社等の歴史や構造の研究において第一人者である広島大学名誉教授の三浦正幸氏が「日本で最後に出来た園部城」と題して講演し、また地域の歴史研究家が南丹市内の城跡などについて紹介を行った。

○京都・南丹 園部城祭り（5月）

主催：京都・南丹 園部城祭り実行委員会（南丹市商工会・園部文化観光協会など）
後援：京都新聞社・森の京都地域振興社（森の京都 DMO）
会場運営協力：公益財団法人南丹市情報センター

【フィルムコミッション・ロケーションサービス事業】

南丹市国際交流会館を映像制作事業者の活動拠点として利用を促し、市全域及び近隣地域へ活動できる環境の提供及び支援を行うことをめざして取組みを進めた。

「映画『唄う六人の女』南丹市プロジェクト」では、プロジェクト会議の定例会を開催して映像制作支援及びシティプロモーション計画の内容検討等を行った。

○映画『唄う六人の女』南丹市プロジェクト（令和4年3月～、令和5年度も継続）
（and pictures・アド近鉄・南丹市・公益財団法人南丹市情報センター）

【生涯学習等推進事業】

コロナ禍でテレワークが推進されるなど働き方が見直されるなか、南丹市国際交流会館ではテレワーク推進事業を実施し、個人利用を対象にWi-Fi環境を整えたコワーキング・スペースを設置した。リモートワーク、リモート学習やインターネットを活用した趣味への活用等、市民が幅広く利用できるインターネット環境と個人が静かに集中して取組みを行える空間を提供している。コロナ禍において多くの方に活用してもらえるよう、1区分（午前、午後または夕方）の料金で一日利用できるキャンペーンを実施した。

○コワーキング・スペース（南丹市国際交流会館2階 6席）

利用回数 238区分 延べ利用人数 110名 収入 37,900円

地域情報化の推進施策として、南丹市国際交流会館内に設置するCATVスタジオやコスモホール等を会場に、次代を担う子どもたちに通信や映像の世界に興味を持つ機会を提供し働くことへの興味・関心を高めてもらうイベント「夏休みこども体験教室」の会場運営を支援した。

○夏休みこども体験教室（8月）

主催：KCNなんたん

協力：公益財団法人南丹市情報センター

南丹市園部女性の館運営委員会並びに南丹市女性会が日頃の生涯学習活動で制作された作品を一堂に展示する「女性の館文化祭・きさらぎフェア」が南丹市国際交流会館イベントホールで開催され、会場運営を支援した。

○女性の館文化祭・きさらぎフェア（11月）

主催：南丹市園部女性の館運営委員会・南丹市女性会

協力：公益財団法人南丹市情報センター

南丹市国際交流会館1階ロビーを市民交流の場として活用し、写真や絵画作品展等の展示スペースを設けて市民活動を支援した。

- 南丹市フォトコンテスト入賞作品展（5～6月、2～3月 南丹市観光交流室）
- 国際交流・多文化共生 子ども絵画コンクール作品展（12～1月 南丹市国際交流協会）

（その他の取組み）

- 南丹市国際交流会館ライトアップによる社会啓発活動
 - ・世界アルツハイマーデー認知症啓発の取組み オレンジライトアップ
（9月 南丹市社会福祉協議会）
 - ・乳がん検診受診促進キャンペーン ピンクリボン活動（10月 京都府南丹保健所）
 - ・世界糖尿病デー ブルーライトアップ（11月 京都府医師会）
 - ・配偶者等からの暴力をなくす啓発活動 パープルリボンキャンペーン
（11月 南丹市人権政策課）
- 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場（南丹市保健医療課）
会場の通年提供及び関係備品の保管
- 適応指導教室「さくら」及び教育相談会場（南丹市学校教育課）
会場の通年提供及び関係備品の保管
- 京都府知事選挙・南丹市長選挙・参議院議員選挙 開票所（南丹市選挙管理委員会）
開票所の提供及び開票設備の保管
- 南丹市特定健康診査・南丹市職員巡回健診（南丹市保健医療課・人事課）
定期健康診断（京都労働基準協会園部支部）
検診会場の提供及び検診車両の駐車
- 献血（京都府赤十字血液センター） 献血会場の提供及び献血車両の駐車
- 赤い羽根共同募金活動（南丹市社会福祉協議会） 広報及び募金箱設置
- 園部小学校 生活科「とび出せ！町のたんけんたい」 南丹市国際交流会館の見学と説明

3. 南丹市国際交流会館の管理運営

【南丹市国際交流会館の利用状況】（令和4年4月～令和5年3月）

- 利用回数 3, 478回（前年度 2, 125回 / 1, 353回増）
- 利用人数 32, 280人（前年度 20, 528人 / 11, 752人増）
- 利用料収入 14, 783, 640円
（前年度 9, 860, 160円 / 4, 923, 480円増）

○新型コロナウイルス感染症拡大防止によるキャンセル数

33回（前年度 270回 / 237回減）

○上記により免除した利用料 150,440円

（前年度 1,494,050円 / 1,343,610円減）

南丹市国際交流会館の利用においては、年度当初は依然としてコロナ禍の影響が大きく、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場等で年間を通して使用するため、1階イベントホール及び5階展望談話室を通年利用として提供した。

年度後半からコロナ禍の影響が若干減少して、全体の利用状況では地階コスモホールや2階研修室等で利用が増える傾向となり、コスモホールでは園部高校合唱部の定期演奏会、詩吟発表会、弦楽ファミリーコンサート等の利用があった。イベントホールでは、てづくりフェスタ、津軽三味線発表会、健康促進イベント、JR利用促進に向けた集会等200人から300人が参加する行事の利用があった。

利用料金は、イベントホールで前年度と比べて2,146,000円増、同じく展望談話室1,423,000円増、研修室5室702,000円増、コスモホール596,000円増など、全体で前年度比4,923,480円増となった。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組み】

令和3年10月20日に改定した南丹市国際交流会館感染拡大予防ガイドラインにより、ホールを含む全施設で定員100%での利用が可能となっている。

令和4年4月時点で主な利用制限は既に解除となっているが、利用者に安心して施設を利用していただくために、引き続き職員の体調管理や手指消毒、マスク着用、そして館内の換気・消毒及び来客用の検温機・消毒液・受付用アクリル板の設置等、日常的に感染拡大防止に努めた。感染拡大防止を理由とするキャンセルについては、引き続き利用料を全額免除する対応とした。

【計画的な保守点検、施設修繕の実施】

法定点検や設備保守等を的確に実施し、安心して利用できる施設環境を提供した。

施設の維持管理については、防火戸自閉装置、排煙窓、正面入口自動ドア等の修繕や更新を行い、安全対策や利用環境の改善に取り組んだ。軽微な設備修繕については、法人より業者発注もしくは経費抑制を図るため可能な範囲で部材発注により法人職員が対処した。

以前より課題となっていた会館屋根瓦、外壁の修繕については、トイレの洋式化改修、身障者及び高齢者等が円滑に会館に出入りできるよう駐車場整備や公園からの歩道整備等と共に、市において実施設計を行い、本年1月より大規模改修工事を実施している。工事期間中においては利用者が安全に安心して会館を利用できるよう、市及び事業者と連携、調整して取組みを進めている。

○南丹市国際交流会館大規模改修工事

(工期：令和5年1月～10月 南丹市地域振興課・営繕課)

(保守点検)

- ・ 建築設備定期検査
- ・ 防火対象物、防火設備定期点検
- ・ 消防用設備保守点検
- ・ 環境衛生管理業務
- ・ 空調設備保守点検
- ・ 昇降機保守点検
- ・ 舞台吊物機構保守点検
- ・ 電話交換機設備保守点検
- ・ 電気設備日常点検
- ・ 受変電設備精密点検
- ・ 地下タンク埋設配管漏洩検査

(その他の保守管理)

- ・ 定期清掃業務
- ・ 日常清掃業務
- ・ 夜間管理業務
- ・ 黒松剪定業務
- ・ 貯水槽の清掃
- ・ 地下タンク内部清掃
- ・ 消防計画上の自主点検
- ・ 空調機フロンガス漏えい点検

(修繕、更新等)

- ・ 防火戸自閉装置修繕
- ・ 会議室／研修室排煙窓修繕
- ・ 泡消火設備試験配管修繕
- ・ 誘導灯器具更新
- ・ 煙感知器（3ヶ所）更新
- ・ 火災受信機バッテリー更新
- ・ 消火器（19本）更新
- ・ 自家発電機冷却水漏れ応急修理
- ・ 正面入口自動ドア修繕
- ・ 玄関前の橋 階段タイル修繕
- ・ 駐車場シャッター応急修理
- ・ トイレ水洗配管修繕
- ・ トイレ換気扇修繕
- ・ 研修室窓ガラス交換
- ・ 研修室床タイル補修
- ・ 事務所空調機修繕
- ・ 矢崎製高圧ケーブル交換
- ・ 館内照明器具／階段通路灯消耗品交換 等

【その他の取組み】

- ・ 年2回の消防訓練を実施（会館内に事務所を置く事業所職員も参加）
- ・ 南丹船井自衛消防隊連絡協議会 普通救命講習を受講